

## 少年の主張県大会

## 古川さん(広田中3年)最優秀賞

中学生が日頃の思いや考えを発表する第46回少年の主張県大会(県青少年育成県民会議など主催、長崎新聞社など後援)が23日、西彼時津町野田郷のときつカナリーホールであり、最優秀の県青少年育成県民会議賞に佐世保市立広田中3年の古川万葉<sup>まよ</sup>さんが選ばれた。



表情豊かに発表する最優秀の古川さん。時津町、ときつカナリーホール

## 「同じ時間、空間を共有して」

県内120校から88893作品の応募があり、地区の大会などで選ばれた12人が発表。内面や社会的な課題について、心の揺れや率直な疑問などを自分の言葉で表現した。

古川さんのテーマは「話すことでしか伝わらない気持ち」。他者とのコミュニケーションにおいて、交流サイト(SNS)のように短時間で効果を得られるタイムパフォーマンスを重視する人が多い中、大事にしているのは「たとえ時間がかかっても言葉に思いをのせて相手に伝わるよう表現すること」と発表。

幼い頃から習っている落

語のように「話し手と聞き手が同じ時間、空間を共有し、共につくり上げていく過程を楽しむことが本来の会話のあるべき姿では」などと問いかけた。

古川さんは11月に東京で開かれる全国大会に向けた九州ブロック選考に進む。

(松尾えり子)

優秀の各賞は次の通り。

(敬称略)

▽長崎新聞社賞Ⅱ岡優空(松浦市立志佐中3年)▽NHK賞Ⅱ田中菜耶(雲仙市立小浜中3年)▽県校長会賞Ⅱ土橋ななみ(長崎大付属中3年)▽県PTA連合会賞Ⅱ井元恵理佳(平戸市立大島中3年)▽ココロねっこ賞Ⅱ阪心晴(大村市立大村中3年)